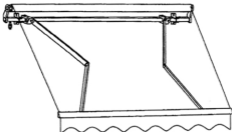


Manual Enomonic Awning

M1100 Size : 2.0×1.5m/3.0×2.0m

取扱説明書

オーニングテント







MADE IN CHINA

当社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

ご使用前に取扱説明書を良くお読みになり、安全に正しくご使用下さい。また、本製品の取付け施工時には危険が伴いますので、施工はぜひとも専門業者にご依頼下さい。取付け不備やそれに起因する事故や損害におきましては弊社はその責を任じません。

もくじ

I.	使用上の注意/安全上の注意	2
II.	組立て方法	5
III.	トラブルシューティング.....	11

内容	製品図
オーニングテント本体	
金属ブラケット (壁取付用)	
金属ボルト	
連結ハンドル	

使用上の注意

当社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。組立て操作の前に、必ず取扱説明書をよくお読みになり安全に正しくご使用下さい。

オーニングテントは窓に設置することで、アウトドアリビングや、ファッショナブルな外観をつくることができます。また、日差しを遮るだけでなく冷房の利きを大幅にアップすることができますので、実用性が高く省エネルギー、かつ夏場の冷房病の対策として健康的な空間作りができます。日よけスクリーンは防水処理とUV対策が施してあり、風雨や日差しに強い構造になっております。大きな掃出し窓や、お子様が遊ぶテラスやプールサイドに、紫外線対策としてもご使用いただけます。

長く快適にご使用いただくためにも、次のことを守って下さい。

- ① オーニングは完全に巻き上げられた状態で、スクリーンや部品が保護された状態になります。オーニングを巻き上げるときは、完全に巻き上げて下さい。安全のため、次の場合にはオーニングを巻き上げて下さい。

■ 豪雨や降雪時、または天候が荒れてそれが予想される時。

注意：雪・みぞれなどがスクリーンに付着したり凍結している場合は、必ず取除いてから巻き上げて下さい。

■ 強風が続く場合

■ 夜間および留守時

- ② スクリーンの汚れがひどいと、生地老化を早めますし、美観を損ねてしまいます。定期的にお手入れし、3～5年に一度はスクリーン生地を取替えて下さい。以下のようにお手入れして下さい。（主なパーツは、アルミニウム合金、成形アルミニウム、ABS樹脂から成っています。）

■ スクリーンのお手入れ

冷水で洗剤を薄めて汚れを拭き、清潔な水ですすいで下さい。

■ フレームのお手入れ

ぬるま湯で薄めた洗剤に布巾を浸してしぼり、汚れを拭き取って下さい。

次に、清潔なぬるま湯に浸して絞った布巾で仕上げして下さい。

技術仕様

製品寸法：3.0×2.0m / 2×1.5m

材質：アルミニウム合金、成形アルミニウム、ABS樹脂

安全上の注意

ここに提示した注意事項は製品を安全に正しくお使いいただき、ご自身や他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は危険や損害の大きさと程度を明示するために、誤った取扱いをすることにより生じることが想定される内容「警告」、「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので必ずお守り下さい。

警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が損害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

警告

- ① 製品の取付け施行時は危険を伴い、熟練した技術が必要です。専門業者に施行を依頼して下さい。
- ② 製品は重量がありますので、ブラケットへ持ち上げるときは二人以上で作業して下さい。
- ③ 安全のため、スクリーンをたるませた状態で使用しないで下さい。
- ④ 防水加工が施してありますので、小雨の時はスクリーンを開いたままでも大丈夫です。その時は、雨がスクリーンにたまらないように、ハンドルをわずかに時計回りに回してスクリーンを張りのばして下さい。
- ⑤ 強い風雨の時はオーニングテントを閉じて下さい。（風力4以上では、テントを閉じて下さい。）雨や積雪が多い時、またそれが予想されるときはテントをたんで下さい。そのような天候下では決して使用しないで下さい。
- ⑥ ご自身で取外し、分解をしないで下さい。何か問題が生じたときは専門業者に修理や点検を依頼して下さい。
- ⑦ 安全のため、全てのボルトをしっかりと取付けて下さい。
- ⑧ お子様はオーニングテントで遊ばないようにご注意下さい。
- ⑨ オーニングテントに物を提げないで下さい。

組立て方法

M1100の取付けは以下の通り行って下さい。

使用する工具

- 以下の工具を施工時にご使用下さい。
- 14mmハンマードリル
- 鉛筆
- 水準器
- ソケットセット (mm単位)
- 調整可能スパナ (あると便利です)

警告

- 製品は重量があります。壁への取付けは二人以上で行って下さい。
- 高く持ち上げるときは、落下事故による破損や、重大な怪我につながる恐れがありますので十分にご注意下さい。
- 施工時は周囲にペットや小さなお子様がいることを確認して下さい。
- 施行後は、お子様がオーニングテントで遊ぶことのないようご注意ください。
- スクリーンやフレームに汚れがつかないように、汚れていない手で施行して下さい。
- フレームにはプラスチックの保護カバーが取付けられています。施行後に取外して下さい。
- 梱包材のビニールはすぐに処分して下さい。お子様がかぶるなどして遊ぶと窒息の恐れがあり危険です。

ステップ1

施行前に、全てのパーツがそろっていることを確認して下さい。部品が抜けていたり、破損していた場合は、お手数ですがお買い求めの販売店へご連絡下さい。

梱包を解き、オーニングテントを注意しながら取出して下さい。

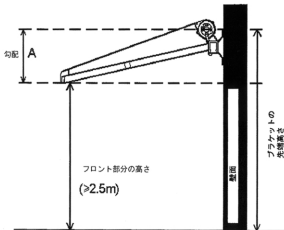
ビニールの梱包を取り、平らな場所にテントを置いて下さい。部品に傷や汚れをつけないよう注意して下さい。

壁に設置する高さを決めます。オーニングテントをドア上に取付ける場合は、ドア枠上と取付け位置まで最少20cmの幅をおとり下さい。高さと勾配は以下を参照して下さい。

推奨先端高さ	2.0m~4.0m
勾配	30cm

勾配角度は施行後わずかに調整できますが、工場出荷時の角度から調整を加えることはおすすめできません。

下図は、テントを最大限に開いたときの勾配を表します。



ステップ2

オーニングテント本体に、ブラケット位置の表示があります。

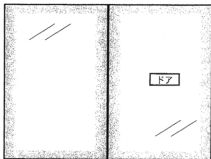
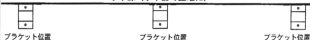
ブラケット位置に注意しながら、オーニングテントの幅を定規で測って下さい。

下図を参照して、推奨先端高さの位置に水平線を引いて下さい。
(長い直定規、水準器、鉛筆を使用して下さい。)

壁面にブラケットを当て、穴の位置に印をつけて下さい。
取付けるブラケットの数はオーニングテントの幅により異なります。

オーニングテント幅	≤3.3m	3.3-4.5m
ブラケット数	2個	3個

水平線 (水準器で正確に)



床面

ステップ3

ハンマードリルに14mmのドリル刃を取付け、壁に印をしたブラケット取付け位置に穴を開けます。

壁に9cmの深さの穴を開けて下さい。取付け穴は、必ずレンガやコンクリート壁に開けるようにして下さい。※モルタルですと、十分な強度がありませんので取付けはできません。

メモ

穴を開ける深さは正確にして下さい。

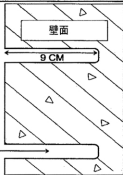
ドリル刃の先端から9cmを定規で正確に測り、その位置にテープを巻いて印を付けて下さい。ドリルを壁にあてて、テープの位置まで穴を開けると正確な深さで開けられます。



14mmハンマードリル



ボルトを挿入



木造住宅への施工

木造住宅へオーニングテントを取付けたい場合は、木造の壁にテントの重さを十分支えられる強度があることを確認して下さい。また、その時は必ず壁にブラケットがしっかりと安全に取付けられるようにして下さい。

本製品付属のボルトは木造の壁には使用できませんので、適宜なボルト（長さ・径が合うコーチネジ）をお近くのホームセンターにてお買い求め下さい。

ステップ4

ボルトを壁の穴に挿入したら、ブラケットを取付けてボルトヘッドからワッシャーをスライドさせて下さい。

その後、17mmナットでしっかりと締めて下さい。

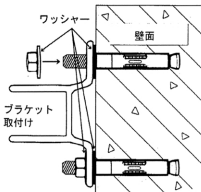
メモ

ボルト取付時は、しっかりと差込むために、必要なら本種でボルトヘッドを打ち込んで下さい。この時、金属製の槌を使用するとボルトのネジ山の先端を傷つけてしまいますので、使用しないで下さい。

ボルトを種で打ち込む場合は、ネジ山の先端を傷つけないようにするため、まず、ボルトヘッドのナットをゆるめて（ボルト先端の高さまで）下さい。

ナットを17mm六角スパナで締めます。このとき、先端が開いたスパナよりも先端が閉じたボックススパナを使用すると、ナットが滑りません。

ブラケットは壁に対してしっかりと取付けて下さい。緩んだり動いたりするときは、ナットを締めてしっかりと固定させて下さい。



警告

ブラケット取付けは、必ず強度のある壁面へお願い致します。もろいブロック面には絶対に取付けしないで下さい。

オーニングテント本体をブラケットに設置した時、壁へのブラケット取付けが不十分だと、本体重みでブラケットが外れ、本体が落下する恐れがあり非常に危険です。必ず、ブラケットをしっかりと壁に取付け、それを確認して下さい。また、設置後もブラケットを点検してゆるみがないことを確認して下さい。

ステップ5

オーニングテント本体を壁のブラケットへ設置します。

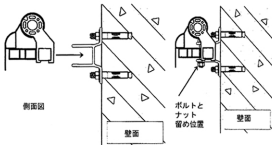
※テントの両端を二人以上で抱えながら、注意して作業を行ってください。

テントのねじり棒をブラケットにスライドさせて下さい。

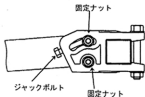
警告 ⚠

高い位置へのオーニングテント設置には、二脚のはしごや脚立が必要になります。作業に適切なはしごをご使用下さい。

はしご段に登るときは、大変危険ですので滑らないよう足場に十分にご注意下さい。



ねじり棒をブラケットからスライドさせにくいときは、ブラケットのナットをわずかにゆるめてから、スライドさせて下さい。その後、19mm六角スパナでボルトとナットをしっかり締めして下さい。安全のため、必ずボルトとナットはきちんと締めして下さい。



ステップ6 傾斜角度の調整

テントの傾斜角度は、あらかじめ最も理想的な角度に設定されています。

傾斜角度の調節は、サイドにあるアームの4×17mm固定ナットをゆるめ、スパナでジャックボルト2×13mmを回して、適宜な角度に調節して下さい。

この時、必ず両サイドの角度が等しくなるようにして下さい。テント前側のバーに水平器を設置し、気泡がちょうど中央にくることを確かめて下さい。

調節後は、17mm固定ナットをしっかりと締めて下さい。

テント前側のバーが完全に水平でない時は、オーニングテントを操作しないで下さい。フレーム・アームの破損や、製品寿命を縮める原因となります。

プラスチックカバーをボルトヘッドに押し込んでおけば、腐食から保護して下さい。オーニングテントの施工は完了です。

テントの開閉は、ハンドルを操作して行って下さい。

警告

お子様がオーニングテントで遊ばないようにご注意ください。

トラブルシューティング

異常	原因	対処
テントが完全に広がらず、スクリーンにたるみがある	スクリーンの長さが適宜でない	カセット方向にスクリーン長さを再調整して下さい。
テントがカセットに完全に巻込まれない	接続位置がずれた	テント前面のアームを調節して下さい。
操作時異音がある	ネジが緩んでいる	全てのネジがきちんと締められているか確認して下さい。